

製品名: 切断因子 B Bb (K260) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08986**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	57+85kDa

抗原情報

遺伝子名	CFB
別名	CFB; BF; BFD; Complement factor B; C3/C5 convertase; Glycine-rich beta glycoprotein; GBG; PBF2; Properdin factor B
遺伝子 ID	629.0
SwissProt ID	P00751
免疫原	抗血清はヒト CFAB Bb 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

背景

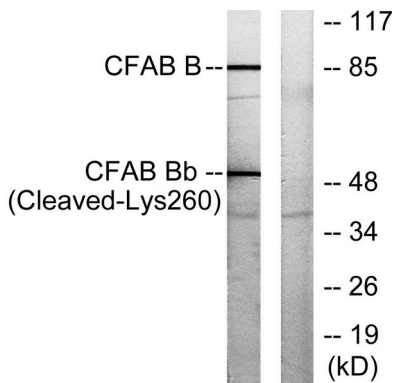
この遺伝子は、補体活性化の代替経路を構成する補体因子 B をコードしています。因子 B は単鎖ポリペプチドとして血液中を循環し

ています。代替経路が活性化されると、補体因子 D によって切断され、非触媒鎖 Ba と触媒サブユニット Bb が生成されます。活性サブユニット Bb はセリンプロテアーゼであり、C3b と会合して代替経路 C3 転換酵素を形成します。Bb は活性化前 B リンパ球の増殖に関与し、Ba はそれらの増殖を阻害します。この遺伝子は、6 番染色体の主要組織適合遺伝子複合体 (MHC) クラス III 領域に局在します。このクラスターには、免疫反応の調節に関する複数の遺伝子が含まれています。この遺伝子の多型は、加齢黄斑変性のリスク低下と関連しています。この遺伝子のポリアデニル化部位は、遺伝子の 5' 末端から 421 bp の位置にあり、補体触媒活性を示します。機能: 補体系の代替経路の一部である因子 B は、因子 D によって 2 つの断片 (Ba と Bb) に切断されます。セリンプロテアーゼである Bb は、次に補体因子 3b と結合して C3 または C5 コンバーターゼを生成します。また、活性化 B リンパ球の増殖と分化、末梢血単球の急速な拡散、リンパ球幼若化の刺激、赤血球の溶解にも関与しています。Ba は、活性化前 B リンパ球の増殖を阻害します。多型性: 2 つの主要な変異体 (F と S) と 2 つのマイナーな変異体、そして少なくとも 14 の非常にまれな変異体が確認されています。His-9 および Gln-32 変異体は、加齢黄斑変性 (ARMD) のリスク低下と関連しています [MIM:603075]。ARMD は多因子性眼疾患であり、先進国における不可逆的な視力喪失の最も一般的な原因です。類似性: ペプチダーゼ S1 ファミリーに属します。類似性: 1 つのペプチダーゼ S1 ドメインを含みます。類似性: 1 つの VWFA ドメインを含みます。類似性: 3 つの Sushi (CCP/SCR) ドメインを含みます。サブユニット: モノマー。

研究分野

補体と凝固カスケード;

画像データ



エトポシド 25 μ M で 1 時間処理した K562 細胞ライセートの CFAB Bb (Cleaved-Lys260) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。